

申5号「2024年度の冬期の取り組みについて」に対する申し入れ① **交渉速報(要旨)**

地本は12月4日に「申5号『2024年度の冬期の取り組みについて』に対する申し入れ」の団体交渉を支社と行いました。今冬期を万全な体制で取り組むべく、13項目にわたって要求を申し入れています。交渉での議論要旨をお伝えします。

1. 各線区の最大編成両数のホーム除雪を万全とすること。

●会社回答: ホーム除雪については、気象情報等を勘案し対応していく考えである。

(組 合) 今冬期におけるホーム除雪の考え方はどうか?

(会 社) 昨年同様、始発列車までに旅客の動線を含めた2両分の除雪を考えている。また、「作業指定日」以外もホーム上の積雪や天候を勘案して、統括センターが臨時発注をできるように体制を整えた。期間については12月10日から3月25日までと昨年より長くしている。

(組 合) 最大両数の除雪については対応可能なのか?

(会 社) これまでと同様に始発列車までに2両分を行い、順次範囲を広げていくこととなる。

(組 合) 乗務員からの申告についてはどうか?

(会 社) JR社員で対応することを考えている。

(組 合) お客さまのサービス低下にはならない。

2. 磐越西線五十島駅上りワンマン停目から3停目までの間に軌間内消雪を設置すること。

●会社回答: 設置されている軌間内消雪設備の活用と機械除雪を実施していく考えである。

(組 合) ワンマン列車で2両編成が多いことからの要求である。軌間内消雪の設備を長くすることは可能か?

(会 社) 予算を含め検討課題としたい。

3. 乗務員によるポイント不転換対応の教育を徹底すること。

●会社回答: 定例訓練及び研修等でポイント不転換対応に関する教育を実施しているところである。

(組 合) なぜ、本施行となったのか? 試行期間での実績はあるのか?

(会 社) 秋田支社・仙台支社が行っており、新潟支社においても本施行できるとなった。2023年に平林駅で乗務員が状況の確認だけを行っている。

(組 合) 教育について、職場実態からして不十分ではないのか?

(会 社) 訓練での動画視聴などで対応可能であると考えている。

(組 合) 実際は雪の中や暗いところ、流雪溝があるなど不安な部分はまだ大きい。

(会 社) ポイントの復旧よりも状況の確認をお願いしたい。無理な対応とならないようにしてもらいたい。

4. 氷柱除去のため現地調査、除去作業を行う際の移動に旅客列車を使わないこと。

●会社回答: 状況に応じて氷柱の現地調査・除去作業を行っていく考えである。

(組 合) 昨年度は営業列車で行ったが今冬期はどう考えているのか?

(会 社) 基本的には考えていない。しかし、氷柱の状況を確認するために旅客列車への前頭添乗を行うことはある。

(組 合) 了解した。